

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和元年 5月 30日

事業所名 放課後等デイサービススマイル津芸濃

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		パーティションや個室等を用いて、学習や運動などその日の活動に適した活用を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		作業療法士、看護師の専門職種を常在させています。	今後職員数を増やしていく予定です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		<input type="radio"/>	基本的にバリアフリー化していますが、トイレに段差があり、状況に応じた対応を行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		スタッフ全員で課題を出し合い、活動内容や課題を共有しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者様向けアンケートの実施や学校との情報交換を行うことで、業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		令和元年5月にホームページ上で公開させて頂いています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在は行っていませんが、今後検討していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修は業務上可能な限り参加しており、施設内でも定期的に研修を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		放課後等デイサービス計画は、スタッフ全員で話し合い決定しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>	標準化されたアセスメントツールは使用していませんが、TEACCHや太田stage、日本相談支援専門員協会の書籍等を参考にしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		チーム、または保護者様のご意見を参考に立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		チームで話し合い、プログラムがマンネリ化しないよう努めています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		平日はSSTの内容を、休日や長期休暇は外出企画等を計画しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		・身体機能面や子どもの特性に合わせて、個別と集団のバランスを変更しながら対応しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝のミーティングで、その日のスケジュールや注意点・送迎プラン等の確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		送迎終了時にその日の振り返りを行い、次の支援につなげています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		電子カルテを用いてその日の活動内容や写真を添付し、ご家族に見ていただけるよう対応しています。		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的に計画の見直しを行い、ご家族と面談の上、支援内容を決定しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		学習支援・集団運動プログラム・季節行事等を組み合わせながら、活動プログラムを実施しています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		ご家族に連絡体制を確認し、連絡体制がとれるようにしています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		まだ障害福祉サービスに事業所等へ移行した事例はありませんが、今後体制を整えていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ボランティアの受け入れは行っていますが、他の施設との交流は行っていません。今後の課題とさせていただきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		三重県内での放課後等デイサービス等の集まりに参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		可能な限り行っているつもりですが、今後更に深めるよう努めて参ります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話での相談や、必要に応じ面談を実施しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母会を定期的実施しています。	今後頻度や方法を含め検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情をお受けした場合は、職員間で迅速にミーティングを行い、対応策や課題を検討したうえで対応させて頂いています。しかしまだ至らない点も多々あるため、今後の継続課題とさせていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			電子カルテを用いて、日々の活動を見て頂ける環境ですが、HP、フェイスブックの更新の頻度を上げることを今後の課題とさせていただきます。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は行えておらず、今後の課題とさせていただきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルが策定されており、施設内で誰でも閲覧できるようにしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		現在は行えておらず、今後の課題とさせていただきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に参加し、意識向上に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在身体拘束が必要なご利用の方は見えませんが、マニュアル等の準備は行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・契約時ご家族にアレルギーの確認は行っていますが、医師の指示書の提出はしてもらっていません	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			ヒヤリハット事例をミーティングで検討し改善しています。	